

令和7年度大学入学者選抜に係るアドミッション・ポリシー、教科・科目の配点 及び旧教育課程履修者に対する経過措置について

令和6(2024)年5月修正

大阪大学

令和7年度入学者選抜における、アドミッション・ポリシー、大学入学共通テスト・個別学力検査等の各教科・科目の配点及び旧教育課程履修者に対する経過措置について、以下のとおりとします。

<目次>

1. アドミッション・ポリシー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2ページ
2. 大学入学共通テスト・個別学力検査等の各教科・科目の配点について
【一般選抜（前期日程）】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15ページ
【総合型選抜・学校推薦型選抜】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27ページ
3. 旧教育課程履修者に対する経過措置について・・・・・・・・・・・・・・・・ 40ページ

1. アドミッション・ポリシーについて

大阪大学アドミッション・ポリシーおよび各学部のアドミッション・ポリシーは以下のとおりです。

大阪大学アドミッション・ポリシー

大阪大学は、教育目標に定める人材を育成するため、高等学校等における学修を通して、確かな基礎学力及び主体的に学ぶ態度を有し、自ら課題を発見し探求しようとする意欲に溢れる人を受け入れます。このような学生を適正に選抜するために、多様な観点からの評価を行います。

各学部アドミッション・ポリシー

文 学 部

【求める人材像】

文学部は、古今東西の思想、言語、歴史、文学、芸術の分析的かつ総合的な探求を通じて対象を本質的に理解し、そこで得られた知見をもって現代社会の諸問題の解決に積極的に取り組む人材の育成を目的としています。そのため、本学部では、大阪大学のアドミッション・ポリシーをもとに、次のような資質を備えた学生を求めています。

- (1) 高等学校等で履修する主要教科の基本的な知識。
- (2) 日本語および外国語の文章を正確に読解する能力。
- (3) 論理的に思考し、自分の考えを口頭および文章で明晰に表現する能力。
- (4) 人文学についての基本的な理解と学問探究への強い意欲。

【入学者選抜の基本方針】

本学部の入学試験では、上記の学生を多様な評価基準によって選抜するために、一般選抜、総合型選抜、私費外国人留学生特別入試を実施します。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

一般選抜では、(1)、(2) を重視し、大学入学共通テストで国語、地理歴史、公民、理科、数学、外国語、情報を、個別学力検査では地理歴史又は数学、外国語、国語を、それぞれ課します。

(3) のうち、論理的思考力および文章表現力については、個別学力検査で評価します。

総合型選抜では、(3)、(4) を重視し、志望理由書や活動実績報告等の書類の提出を求め、小論文、面接を課します。(1)、(2) については、大学入学共通テストで評価します。

また、私費外国人留学生特別入試を実施し、高い日本語能力と学問探究への意欲をもつ外国人留学生を選抜します。

人間科学部

【求める人材像】

人間科学部は、大阪大学の教育目標のもと、従来の文系・理系の枠にとらわれず、つねに新たな学際的領域に視野を広げながら、「人間と人間の営む社会を科学的に考察し、人間とは何かを見つめ、人間という存在を理解し、人間らしく生きていける社会を作り出すことに貢献できる有能な人材を育成することを目的」としています。人間と社会の全体像をさまざまな側面から理解するための取り組みの中では、自然科学・社会科学・人文科学などのさまざまな手法を縦横に用います。したがって、文科系・理科系のどちらか一方の学問に偏らず高等学校等でのあらゆる普通教育科目や専門教育科目を学修し、特定の学問領域にとらわれない好奇心旺盛な態度やさまざまなフィールドで実践的活動に参加する行動力を持ち、さらにグローバルな諸課題にも積極的に関与しようとする意欲や能力を備えている学生を強く求めています。

【入学者選抜の基本方針】

人間科学部が掲げる理念である学際性・国際性・実践性を涵養する学びや活動を育成する教育プログラムを学修するために、入学者選抜にあたっては、文理融合的な学びや研究の基礎となるバランスの取れた各教科の学力、さまざまな専門分野の知識や複雑な議論を含む長文の読解力や文章分析力、自分の考えを他者に適切に伝えるための表現力、国際的なコミュニケーションの基盤となる外国語能力、さらに、自ら課題を発見し、その解決のために専門分野以外のさまざまな専門分野の他者と協働するための意欲を重視し、以下の方法により選抜します。また、グローバルで多様性のある学習環境の実現に向けて私費外国人留学生特別入試や学部英語コース特別入試を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

（一般選抜）

大学入学共通テストでは、国語、数学、地理歴史・公民、理科、外国語、情報の受験が必要です。大学入学共通テストでは、各教科のバランスの取れた基礎学力を評価します。個別学力検査では、国語、数学、外国語を課します。個別学力検査での国語によって、長文の読解力や表現力を評価します。数学では、統計学や情報処理の学修に必要な数学の基礎学力と数学的思考力に基づいた論理的思考力を評価します。外国語では、英語の基本学力や読解力とともに、英語による表現力を評価します。

（総合型選抜）

志望理由及び高等学校在学期間に相当する期間に行った特筆すべき活動内容について調査書、志望理由書、活動実績報告書などから第一次選考（書類選考）として評価し、第一次選考合格者には、小論文と面接を課すことで、表現力、課題探究力（実践力）、協調性と学習意欲などを評価します。そして、一般選抜と同様の大学入学共通テストの試験科目を課すことにより基礎学力を評価し、多面的で総合的な選抜を行います。

（3年次編入）大学・短大・高専での多様な学問領域を一定程度学修し、それらの成果を発揮しつつ、本学部が求める人間や社会への学際的・国際的な洞察や実践的活動を可能とするような学生を選抜します。

外国語学部

【求める人材像】

外国語学部は、大阪大学の教育目標のもと、世界の諸地域の言語に関する教育を出発点とし、言語を基底として営まれる文化や社会について、理論と実際にわたって教授することを通じて、国際社会の様々な場面で通用する高度な言語運用能力と世界に関する幅広い知識を有し、異文化理解力をとおして人類と世界に貢献することのできる人材を養成することを目的としています。

この目的に沿って、外国語学部は、世界諸地域の言語、文化、社会に対する強い関心を持つ、次のような学生を募集します。

- (1) さまざまな文化背景を持つ人とコミュニケーションする能力を身につけたい人。
- (2) 世界諸地域の言語や文化、社会に関する専門的な知識を身につけたい人。
- (3) 言語を十二分に駆使して、世界諸地域の文化や社会の研究をしたい人。
- (4) 異文化間の対話と相互理解を深める架け橋になりたい人。
- (5) 世界的規模の諸問題を解決するため、国際的な活動や協力を推進したい人。

【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を受け入れるため、一般選抜と総合型選抜の入試を行います。これに加えて、帰国生徒特別入試、私費外国人留学生特別入試、3年次編入学試験を実施し、グローバルで多様な学生を求めます。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

1. 一般選抜では、大学入学共通テストと個別学力検査をとおして、国語、社会（地理歴史、公民）、理科、数学、外国語、情報に関する知識と理解度を判定します。
2. 総合型選抜では、高等学校等の調査書もしくは国際バカロレア資格証書・成績証明書、TOEFL等の検定試験の成績証明書、学修計画書、高等学校等の長の責任のもと作成する志願者評価書（志願者の多様な資質に関する記述及びその関連書類を含む）、さらに、小論文、口頭試問、大学入学共通テストをとおして、多角的、総合的に合否判定を行います。
3. 帰国生徒特別入試では、外国語と国語の筆記試験と口頭試問を実施し、外国語学部における学修に必要な外国語能力と論理的思考力を身につけているかを判定します。
4. 私費外国人留学生特別入試では、日本留学試験の成績、英語と日本語の筆記試験および口頭試問をとおして、外国語学部における学修に必要な日本語能力と論理的思考力を身につけているかを判定します。
5. 3年次編入学試験では、筆記試験（志願する専攻言語）と口述試験をとおして、3年次編入に相応しい学力を有しているかを判断します。

注：上記の入試における英語の試験ではリスニングテストを行います（総合型選抜を除く）

法 学 部

【求める人材像】

法学部では、大阪大学のアドミッション・ポリシーのもと、法学部の教育目標に定める人材を育成するため、基礎学力・理解力・論理的思考力・表現力・構想力を有した人材を求めています。

- (1) 基礎学力：高等学校等で履修する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報についての基本的な知識があり、基本的な問題の解決に利用することができる。
- (2) 理解力：物事を深く、多面的に理解することができる。
- (3) 論理的思考力：論理的に思考することができる。
- (4) 表現力：論理的な思考の過程を自分の言葉で表現することができる。
- (5) 構想力：問題を発見し、その解決策を構想することができる。

【入学者選抜の基本方針】

法学部は、上記のような人材を受け入れるため、また多様な学生を確保するため、国内の学生においては一般選抜と総合型選抜による入試を行います。また、学生の学習環境としてグローバルな多様性を確保するため、私費外国人留学生特別入試、海外在住私費外国人留学生特別入試を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

一般選抜では、大学入学共通テストの成績で基礎学力・理解力・論理的思考力を備えているかを、2次試験の成績で基礎学力・理解力・論理的思考力・表現力・構想力を備えているかを、それぞれ判定し、これらの成績をあわせて評価します。

総合型選抜では、共通テストの成績で基礎学力・理解力・論理的思考力を備えているかを、面接試験の成績で理解力・論理的思考力・表現力・構想力を備えているかを、書類審査の成績で論理的思考力・表現力・構想力を備えているかを、それぞれ判定し、これらの成績をあわせて評価します。

留学生については私費外国人留学生特別入試を行い、同様の目的から、筆記試験（小論文）と面接試験を実施します。

法学科の3年次編入試験では、同様の目的から、筆記試験（英語・小論文）と書類審査を実施します。

経済学部

【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーを受け、経済学部は、経済学および経営学に関する知識を忍耐強く習得し、自分の適性を発見して社会の多様な道に進み、それぞれの分野において将来大きな成果をあげてくれる人材を求めます。具体的には、以下のような能力・資質を持った人材を求めています。

- (1) 探求心：経済学および経営学に関する知識を習得する
- (2) 社会に対する関心：自分の適性を発見して社会の多様な道に進み、それぞれの分野において将来大きな成果をあげる
- (3) 基礎学力（全般）：高等学校等で履修する国語、地理歴史、公民、理科、数学、外国語、情報についての基本的な知識及び理解度を持つ
- (4) 基礎学力（特定の分野）：特定の分野で高い能力を持つ

【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を受け入れ、また多様な学生を確保するため、総合的知識・能力をバランスよく持った人材、専門的知識・能力に特に秀でた人材、探求心や主体性が特に優れた人材などを適切に評価できるよう、国内の学生においては一般選抜と総合型選抜による入試を行います。また、学生の学習環境としてグローバルな多様性を確保するため、私費外国人留学生特別入試、海外在住私費外国人留学生特別入試を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

1. 一般選抜においては、上記の求める資質・能力を、大学入学共通テストで(3)、個別学力検査で(4)を中心に評価し、判定します。
また、理科系志望も含む多様な人材を選抜するため、入学試験における評価の対象となる大学入学共通テスト科目について多様な試験科目の選択を認め、高等学校等において理数系科目を重点的に学んできた人材についても個別試験への門戸を開きます。さらに、総合的な能力を持つ人材だけでなく、特定の分野で高い能力を持つ人材を選抜するため、大学入学共通テストと個別試験の総合判定において複数の科目配点方法を採用し、総合点の評価とともに、特定の科目における優秀な成績を評価に入れます。
2. 総合型選抜においては、上記の求める資質・能力を、以下の方法を中心に評価し、判定します。大学入学共通テストで(3)、面接で(1)～(4)、調査書で(1)、(2)、その他の提出書類で(1)、(2)、(4)、英語資格で(3)・(4)を中心に評価し、判定します。

理 学 部

【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーを受けて、理学部では教育目標に定める人材として相応しい、下記のような人を求めています。

- (1) 高等学校等における教育課程を修了し、もしくは同等の能力を身につけている人。
- (2) 幅広い自然科学の基礎知識と応用力に加え、広い視野と柔軟な発想力を持ち、その発想を伝える力を持ち合わせた人。
- (3) 自然科学に知的な好奇心を持ち、自ら強く考察して真理を探究・発信することに喜びを感じる人。
- (4) 科学の素養を背景にして、国際社会に幅広く貢献したい人。

【入学者選抜の基本方針】

上記の人材を多様な方法で選抜するため、下記の一般選抜と2種類の総合型選抜を実施します。これらの入試においては、(1)の高等学校卒業相当の学力を重視しますので、大学入学共通テスト(国語、数学、英語、理科2科目、地理歴史・公民1科目、情報)を課します。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

一般選抜では、より高度な学力の習熟度・応用力を測るため、また、(2)の広い視野と柔軟な発想力を持ち、その発想を伝える力を持ち合わせた人を選抜するために、高度な記述式の数学、理科の個別学力検査を行います。また、(4)の国際社会への貢献に必要な英語の学力を、高度な記述式の試験により評価します。

総合型選抜(研究奨励型)では、(3)の自然科学に対する知的な好奇心を有する人を選抜するために、高等学校等での研究活動を重視し、書類審査で活動内容を、また面接試験で研究に対する姿勢を評価します。

総合型選抜(挑戦型)では、書類審査で高等学校等での課外活動から(4)の社会貢献の意欲を評価し、さらに(3)の自ら強く考察して真理を探究・発信することに喜びを感じる人を選抜するために、難易度の高い課題を課した面接を実施します。

また、特別入試(帰国生徒特別入試、私費外国人留学生特別入試、国際科学特別入試)では、日本の高等学校の枠組みを離れ、(2)～(4)の能力を有する人を、学力試験と面接試験によって選抜します。

医学部 医学科

【求める人材像】

医学部医学科では、地域医療に貢献する人材や、世界をリードする医師・研究者を養成することを教育目標とし、これを実現するため、以下のような資質・能力を持った学生を受け入れます。

- (1) 高度な倫理観に裏付けられた豊かな人間性を持ち、組織においてリーダーシップを発揮できる者
- (2) 医学科の教育課程を履修するに必要な高度な学力、知性および語学力を有する者
- (3) 医学の進歩に貢献するとの強い信念を持ち、それを実現する行動力を有する者
- (4) 多様な価値観を受け入れる柔軟性と知への探究心、自由で豊かな発想力を持ち、創造性を発揮できる者
- (5) 社会における自らの役割を理解し、協調性と責任感をもってそれに貢献する意欲のある者

【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を受け入れ、また多様な学生を確保するため、国内の学生においては一般選抜と学校推薦型選抜による入試を行います。

また、学生の学習環境としてグローバルな多様性を確保するため、私費外国人留学生特別入試、海外在住私費外国人留学生特別入試を行い、医学とその他の関連学問分野との融合を図るため、学士編入学試験を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

1. 一般選抜では、特に(2)、(3)を重視し、大学入学共通テストで(2)を、個別学力検査で(2)を、面接において(1)、(3)、(4)、(5)に関する資質を評価し、選抜を行います。
2. 学校推薦型選抜では、特に(1)、(4)を重視し、大学入学共通テストで(2)を、面接で(1)、(3)、(4)、(5)を、小論文で(2)、(3)、(4)を、調査書で(1)、(2)、(3)、(5)を、推薦書で(1)、(2)、(3)、(5)を評価し総合的に判定します。

医学部保健学科

【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、医学部保健学科では国内外の研究・実践・教育の場で、専門性と語学力を基盤としたリーダーシップを発揮し、専門領域の確固たる資格と自信を持ち、人に対して温かい目を持つ医療人を育成するために、以下のような資質を有する学生を受け入れます。

- (1) 高等学校等で履修する各種の学習内容を幅広く理解している人
- (2) 医療専門職として必要な自然科学の基礎的知識・理解と論理的思考力を持つ人
- (3) 基礎的語学力を有し、国際的な視野を持つ人
- (4) 保健・医療への関心を有し、課題を解決する意欲と能力を持っている人
- (5) 基本的コミュニケーション力を有し、リーダーシップを発揮する素質を有する人

【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を受け入れ、また多様な学生を確保するため、国内の学生においては一般選抜と学校推薦型選抜による入試を行います。また、学生の学習環境としてグローバルな多様性を確保するため、帰国生徒特別入試、私費外国人留学生特別入試、海外在住私費外国人留学生特別入試を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

1. 一般選抜では、特に(1)～(3)を重視した評価を行います。すなわち、(1)に対して大学入学共通テストにて国語、地理歴史・公民、理科、数学、外国語、情報を課す一方で、個別学力検査では理科、数学、外国語の記述式問題により(2)、(3)に関する能力を評価します。
2. 学校推薦型選抜では、特に(4)、(5)を重視した評価を行います。すなわち、(1)～(3)に対して大学入学共通テストにて国語、地理歴史・公民、理科、数学、外国語、情報を課すことにより学力を担保し、調査書等の出願者が提出する資料等と面接試験により、(4)、(5)に対する能力と資質を重視した配点を採用します。

歯 学 部

【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、歯学部では健康科学に貢献できる創造力を備え、歯学研究、歯科医療分野における次世代のリーダーを目指す意欲に満ちた、以下のような能力・資質を備えた人を受け入れます。

- (1) 他人に対する思いやりの心を有している人
- (2) 生命、医療に強い関心をもっている人
- (3) 自らの考えを論理的に伝えることができる人
- (4) 高等学校等にて習得すべき基礎学力を有している人
- (5) 歯学部での学修に必要な理科、数学、外国語の各科目について十分な知識を有している人
- (6) 自立的な問題解決能力を涵養している人
- (7) 世界に目を向け、健康科学の発展に貢献しようという意欲のある人

【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を受け入れ、また多様な学生を確保するため、国内の学生においては一般選抜と学校推薦型選抜による入試を行います。また、学生の学習環境としてグローバルな多様性を確保するため、私費外国人留学生特別入試、海外在住私費外国人留学生特別入試を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

1. 一般選抜では、特に(5)及び(6)を重視した評価を行います。すなわち、(4)に対して共通テストにて国語、地理歴史・公民、理科、数学、外国語、情報を課す一方で、二次試験では理科、数学、外国語の記述式問題により(5)及び(6)に関する能力を評価します。さらに、面接試験によって(1)、(2)、(3)、(7)に関する能力を評価します。
2. 学校推薦型選抜では、特に(2)、(3)、(7)を重視した評価を行います。すなわち、(4)に対して共通テストにて理科、数学を課します。その際、(5)に対する能力を重視した配点を採用します。さらに、面接試験及び推薦書によって(1)、(2)、(3)、(6)、(7)に関する能力を評価するとともに、(5)に対しては英語資格、(3)、(7)に対しては自己推薦書による評価も併せて行います。

薬 学 部

【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもと、薬学部では、学習目標に定める「高度な専門性と深い学識」、「教養」、「国際性」及び「デザイン力」を身につけることにより、医薬品の創成とその適正な使用法の確立、生活環境の安全・安心の確保等を通じて人類の健康に奉仕し、豊かな社会の発展に貢献することができる人材を育成するために、ヒトの健康・医療・福祉の課題や問題点を理解し、その解決に向けて生命科学、創薬科学、社会・環境薬学、医療・臨床薬学の基礎研究、臨床研究に打ち込み、薬学の発展に寄与する熱意と志を有する学生を求めています。そのために、高校卒業までに修得してほしい資質・能力として以下の点を挙げます。

- (1) 入学後の生命科学、創薬科学、社会・環境薬学、医療・臨床薬学等に関する「高度な専門性と深い学識」を修得するために必要な幅広い基礎学力を有する（高等学校等での履修教科全般における基礎的な知識・技能）
- (2) ヒトの健康・医療・福祉における課題や問題点に深い関心を持ち、これらを複眼的に理解し、その解決に向けた論理的な考察ができる（思考力及び判断力）
- (3) 他者と積極的かつ協調性を持って関わり、相互理解を得ることができるコミュニケーション能力を有する（表現力）
- (4) 目的意識を持って主体的かつ積極的に修学を進め、課題解決を通して社会に貢献する意欲と使命感を有する（主体的に学習に取り組む態度）
- (5) 薬学を修学し、将来医療・臨床に携わる者にふさわしい人間性と倫理観を有する
- (6) 世界を視野に入れた異文化社会に関心を持ち、積極的な関わりを志向する意欲を有する

【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を受け入れ、また多様な学生を確保するため、国内の学生においては一般選抜と学校推薦型選抜による入試を行います。また、学生の学習環境としてグローバルな多様性を確保するため、私費外国人留学生特別入試、海外在住私費外国人留学生特別入試を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

求める人材像の資質・能力を適切に評価し選抜を行うために、

1. 一般選抜においては、以下の方法を用いて上記の資質・能力を評価し、判定します。
大学入学共通テスト：(1)、個別学力試験：(1)(2)、面接・口頭試問：(3)(4)(5)、小論文：(2)(4)、調査書：(1)～(6)
2. 学校推薦型選抜においては、以下の方法を用いて上記の資質・能力を評価し、判定します。
大学入学共通テスト：(1)、面接・口頭試問：(2)(3)(4)(5)、小論文：(2)(4)、調査書：(1)～(6)、推薦書・その他の提出書類：(1)～(6)

工 学 部

【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、工学部では、人類社会の現状と将来について深い関心を持ち、その課題発見と解決に貢献しようとする意欲に溢れ、次のような資質を持つ人を求めています。

- (1) 高等学校等における各種の学習内容を幅広く理解している。
- (2) 工学の基礎学問である高等学校等における数学、理科を深く論理的に理解している。
- (3) 自分の考えを的確に伝えるための表現力を身につけている。
- (4) 広い観点から主体的に問題に取り組み、論理的に考察することができる。
- (5) 基本的なコミュニケーション力を身につけている。

【入学者選抜の基本方針】

本学部の入学試験では、上記の人材を選抜するために、一般選抜および学校推薦型選抜という全く選考方法の異なる入試により、多面的な評価尺度で多様な観点からの評価を実施します。

【具体的選抜方法と資質・能力との関係】

1. 一般選抜および学校推薦型選抜ともに、(1)については、大学入学共通テストにおける国語、地理歴史・公民、理科、数学、外国語、情報により評価します。
2. 一般選抜においては、理科、数学、外国語を課すことで(2)を評価し、高度な記述式問題により(3)、(4)に優れた能力を有している人を選抜します。
3. 学校推薦型選抜においては、書類審査と面接試験により(2)～(5)、特に(3)～(5)を重視した選抜を行います。
4. 帰国生徒特別入試、私費外国人留学生特別入試、海外在住私費外国人留学生特別入試、高等専門学校から本学部3年次への編入学試験を実施し、学力検査と面接試験の組み合わせにより、(2)～(5)の能力を評価し、多様で優れた人材を見出します。

基礎工学部

【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、基礎工学部の理念である「科学と技術の融合による科学技術の根本的解決及びそれにより人類の真の文化を創造する」ことに共感する、次のような能力、資質を持つ人を求めています。

- (1) 基礎学力：高等学校等における各科目の学習内容を幅広く理解しており、特に、数学、理科を高度に習得している。
- (2) 思考力：科学と技術に関する基礎的な知識、技能にもとづき、問題を多角的に捉え、柔軟な発想から筋道を立てて考察できる。
- (3) 表現力：自分の考えを論理的に説明できる。
- (4) 国際性：外国語を高度に習得しており、異なる言語・文化をもつ様々な人たちと相違を超えて対話、交流できる。
- (5) 探究心：科学や技術に関する深い関心と興味を持ち、新しい分野の開拓に主体的かつ積極的に挑戦する意欲がある。
- (6) コミュニケーション力：さまざまな考えの人たちの意見にも耳を傾けて対話できる。

【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を受け入れ、また多様な学生を確保するため、国内の学生においては一般選抜と学校推薦型選抜による入試、さらに高等専門学校からの編入学試験を行います。また、学生の学習環境としてグローバルな多様性を確保するため、帰国生徒特別入試、私費外国人留学生特別入試、海外在住私費外国人留学生特別入試を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

共通テストでは6教科8科目の、また、一般選抜では特に理科、数学、外国語の試験を課すことで(1)～(4)の能力を評価します。また、学校推薦型選抜では、共通テストに加えて調査書、推薦書ならびに口頭試問を実施することにより、(5)、(6)を重視した優れた学生を選抜しています。さらに、帰国生徒特別入試、私費外国人留学生特別入試などの特別入試、高等専門学校から本学部3年次への編入学試験では、(1)～(6)に優れた能力を有している多様な学生を選抜しています。

2. 大学入学共通テスト・個別学力検査等の各教科・科目の配点について

一般選抜（前期日程）および総合型選抜・学校推薦型選抜における各学部の大学入学共通テスト・個別学力検査等の各教科・科目の配点は以下のとおりです。

なお、令和7年度大学入学者選抜における利用教科・科目については、2022年12月7日公表の「平成30年告示高等学校学習指導要領に対応した、令和7年度大学入学者選抜における利用教科・科目について（予告）の変更について」をご確認ください。

※平成30年告示高等学校学習指導要領に対応した、令和7年度大学入学者選抜における利用教科・科目について（予告）の変更について

<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/faculty/general/2025>

（注）大学入学共通テストにおける理科の科目『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4つの出題範囲のうち2つを選択解答してください。

（注）外国語学部の個別学力検査等において、英語の試験の一部にリスニングを行います。

【一般選抜（前期日程）】

●文学部

・第1段階選抜

実施しません。

・第2段階選抜

	国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	合計	総合計
大学入学 共通テスト	50	60 (30×2) ※1		40	50	50※2	10	260	660
個別学力 検査等	150	地理歴史、数学から選択※3 100				150	—	400	

※1：「地理歴史」及び「公民」から選択した2科目の配点です。

※2：大学入学共通テストの外国語において、「英語」（リーディング100点満点、リスニング100点満点）を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

※3：「地理歴史」及び「数学」のいずれかの教科から選択した1教科の配点です。

【一般選抜（前期日程）】

●人間科学部

・第1段階選抜

入学志願者数が募集人員に対して約2.4倍を超えた場合は、第1段階選抜を実施します。

・第2段階選抜

	国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	合計	総合計
大学入学 共通テスト	100	300 (100×3)			100	100※ ¹	30	630	1,230
個別学力 検査等	200	—	—	—	200	200	—	600	

※1：大学入学共通テストの外国語において、「英語」（リーディング100点満点、リスニング100点満点）を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

【一般選抜（前期日程）】

●外国語学部

・第1段階選抜

学部全体の入学志願者数が募集人員に対して約2.3倍を超えた場合は、専攻の入学志願者数が募集人員に対して約2.3倍を超えた専攻のみ第1段階選抜を実施します。

・第2段階選抜

	国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	合計	総合計
大学入学 共通テスト	50	50 (25×2) ※1		25	50	50※2	10	235	735
個別学力 検査等	100	地理歴史、数学から選択※3 100				300※4	—	500	

※1：「地理歴史」及び「公民」から選択した2科目の配点です。

※2：大学入学共通テストの外国語において、「英語」（リーディング100点満点、リスニング100点満点）を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

※3：「地理歴史」及び「数学」のいずれかの教科から選択した1教科の配点です。

※4：英語の試験の一部にリスニングを行います。

【一般選抜（前期日程）】

●法学部

・第1段階選抜

実施しません。

・第2段階選抜

	国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	合計	総合計
大学入学 共通テスト	120	120 (60×2) ※1		80	120	120※2	40	600	1,200
個別学力 検査等	200	—	—	—	200	200	—	600	

※1：「地理歴史」及び「公民」から選択した2科目の配点です。

※2：大学入学共通テストの外国語において、「英語」（リーディング100点満点、リスニング100点満点）を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

【一般選抜（前期日程）】

●経済学部

・第1段階選抜

実施しません。

・第2段階選抜

配点 区分	試験区分	国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	合計	総合計
A配点	大学入学 共通テスト	120	150 (50×3)			120	120 ^{※1}	30	540	600
	個別学力 検査等	20	—			20	20	—	60	
B配点	大学入学 共通テスト	14	15 (5×3)			14	14 ^{※1}	3	60	600
	個別学力 検査等	180	—			180	180	—	540	
C配点	大学入学 共通テスト	65	90 (30×3)			65	65 ^{※1}	15	300	600
	個別学力 検査等	100	—			100	100	—	300	

※1：大学入学共通テストの外国語において、「英語」（リーディング100点満点、リスニング100点満点）を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

【一般選抜（前期日程）】

●理学部

・第1段階選抜

入学志願者数が募集人員に対して約3倍を超えた場合は、第1段階選抜を実施します。

・第2段階選抜

	国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	合計	総合計
大学入学 共通テスト	100	50※ ¹		50	50	50※ ²	10	310	1,010
個別学力 検査等	—	—	—	250	250	200	—	700	

※1：第1解答科目の成績を利用します。

※2：大学入学共通テストの外国語において、「英語」（リーディング100点満点、リスニング100点満点）を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

【一般選抜（前期日程）】

●医学部医学科

・第1段階選抜

指定する大学入学共通テストの成績（注）の総点が1,000点満点中700点以上の者のうちから、募集人員の約3倍までの者を第1段階選抜合格者とします。入学志願者数に関わらず、上記得点に満たない場合は、第1段階選抜不合格とします。

（注）大学入学共通テストの素点の成績を用います。なお、英語はリーディング100点、リスニング100点の合計200点満点をリーディング150点満点、リスニング50点満点の合計200点満点に換算します。

・第2段階選抜

	国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	その他 (面接等)	合計	総合計
大学入学 共通テスト	100	75※ ¹		100	100	100※ ²	25	—	500	2,000
個別学力 検査等	—	—	—	500	500	500	—	面接※ ³	1,500	

※1：第1解答科目の成績を利用します。

※2：大学入学共通テストの外国語において、「英語」（リーディング100点満点、リスニング100点満点）を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

※3：個人面接（10分程度）によって人間性・創造性豊かな医師及び医学研究者となるにふさわしい適性を計り、一般的態度、思考の柔軟性及び発言内容の論理性等を評価します。

面接の結果によって、医師及び医学研究者になる適性に欠けると判断された場合は、筆記試験の得点にかかわらず不合格とします。なお、複数の面接員による評価を参考にして、場合によっては、複数回の面接をすることがあります。

【一般選抜（前期日程）】

●医学部保健学科

・第1段階選抜

実施しません。

・第2段階選抜

看護学専攻

	国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	合計	総合計
大学入学 共通テスト	100	100※1		100	100	200※2	25	625	1,025
個別学力 検査等	—	—	—	100	100	200	—	400	

放射線技術科学専攻・検査技術科学専攻

	国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	合計	総合計
大学入学 共通テスト	100	100※1		100	100	100※2	20	520	1,195
個別学力 検査等	—	—	—	225	225	225	—	675	

※1：第1解答科目の成績を利用します。

※2：大学入学共通テストの外国語において、「英語」（リーディング100点満点、リスニング100点満点）を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

【一般選抜（前期日程）】

●歯学部

・第1段階選抜

実施しません。

・第2段階選抜

	国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	その他 (面接等)	合計	総合計
大学入学 共通テスト	100	50 ^{※1}		100	100	100 ^{※2}	20	—	470	1,670
個別学力 検査等	—	—	—	300	300	300	—	面接 ^{※3} 300	1,200	

※1：第1解答科目の成績を利用します。

※2：大学入学共通テストの外国語において、「英語」（リーディング100点満点、リスニング100点満点）を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

※3：個人面接を行います。医療人になるための適性や明確な目的意識を持っている者を積極的に受け入れることを目的とします。（①全般的態度 ②受験の動機、目的、意識 ③意欲、積極性 ④協調性、柔軟性を評価します。）

【一般選抜（前期日程）】

●薬学部

・第1段階選抜

入学志願者数が募集人員に対して約2.5倍を超えた場合は、第1段階選抜を実施します。

・第2段階選抜

	国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	その他の (面接等)		合計	総合計
大学入学 共通テスト	100	50※1		100	100	50※2	25	—	—	425	1,125
個別学力 検査等	—	—	—	250	250	150	—	小論文 50	面接※3	700	

※1：第1解答科目の成績を利用します。

※2：大学入学共通テストの外国語において、「英語」（リーディング100点満点、リスニング100点満点）を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

※3：複数の面接員による評価を参考にして、場合によっては、複数回の面接をすることがあります。なお、面接の結果によって、薬剤師及び薬学研究者になる適性に欠けると判断された場合は、筆記試験の得点に関わらず不合格とします。

【一般選抜（前期日程）】

●工学部

・第1段階選抜

学部全体の入学志願者数が募集人員に対して約3倍を超えた場合は、第1志望学科の入学志願者数が募集人員に対して約3倍を超えた学科のみ第1段階選抜を実施します。

※第1志望学科で第1段階選抜不合格となった者は、第2志望学科も不合格となります。

・第2段階選抜

	国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	合計	総合計
大学入学 共通テスト	75	50※1		50	75	50※2	25	325	1,025
個別学力 検査等	—	—	—	250	250	200	—	700	

※1：第1解答科目の成績を利用します。

※2：大学入学共通テストの外国語において、「英語」（リーディング100点満点、リスニング100点満点）を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

【一般選抜（前期日程）】

●基礎工学部

・第1段階選抜

学部全体の入学志願者数が募集人員に対して約2.9倍を超えた場合は、第1段階選抜を実施します。

・第2段階選抜

	国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	合計	総合計
大学入学 共通テスト	75	50※1		50	75	50※2	25	325	1,025
個別学力 検査等	—	—	—	250	250	200	—	700	

※1：第1解答科目の成績を利用します。

※2：大学入学共通テストの外国語において、「英語」（リーディング100点満点、リスニング100点満点）を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

【総合型選抜・学校推薦型選抜】

●文学部

・第1次選考

提出書類を50点満点で採点し、募集人員の約2倍までの者を上限として第1次選考合格者を決定します。

・第2次選考

第1次選考合格者に対し小論文及び面接を実施します。

第2次選考の合格者判定は、大学入学共通テストの成績、提出書類、小論文、面接の結果を総合して行います。第2次選考の配点は、次のとおりとします。

大学入学共通テスト								提出書類	小論文	面接	総合計
国語	地理 歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	合計				
(200)	(200)	(100)	(200)	(200) ※1	(50) ※2	200 ※3	100	100	100	500	

※1：英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング(100点満点)の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記(200点満点)の成績を利用します。

※2：100点満点を50点満点に換算

※3：大学入学共通テスト合計950点満点を200点満点に換算。

※但し、大学入学共通テストの得点の合計が満点中概ね75%以上であることを目安とします。

【総合型選抜・学校推薦型選抜】

●人間科学部

・第1次選考

提出書類により選考を行い、募集人員の約2倍までの者を上限として第1次選考合格者を決定します。

・第2次選考

第1次選考合格者に対し小論文及び面接を実施します。なお、面接は、必要に応じ、外国語により行う場合があります。

第2次選考の合格者判定は、大学入学共通テストの成績、提出書類、小論文の成績、面接の結果により行います。

大学入学共通テスト								提出書類	小論文	面接	総合計
国語	地理 歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	合計				
20	20 ^{※1}	20	20	20 ^{※2}	5	105	40	40	20	205	

※1：第1解答科目の成績を利用します。

※2：英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

※但し、大学入学共通テストの得点の合計が満点中概ね75%以上であることが必要です。

【総合型選抜・学校推薦型選抜】

●外国語学部

・第1次選考

提出書類により選考を行い、専攻毎に募集人員の約2倍までの者を上限として第1次選考合格者を決定します。

・第2次選考

第1次選考合格者に対し小論文及び口頭試問を実施します。なお、小論文（120分）は、文章読解論述型のほか、必要に応じてテーマ型など他の形式でも出題します。口頭試問は、必要に応じ、外国語により行う場合があります。

第2次選考の合格者判定は、大学入学共通テストの成績、提出書類、小論文の成績、口頭試問の結果により行います。

大学入学共通テスト								提出書類	小論文	口頭試問	総合計
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	合計				
100	80	25	50	150 ^{※1}	10	415	150	200	150	915	

※1：英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

※但し、大学入学共通テストの得点の合計が満点中概ね75%以上、かつ外国語の得点が概ね80%以上必要です。

【総合型選抜・学校推薦型選抜】

●法学部

・第1次選考

提出書類により、各学科で第1次選考を行います。

・第2次選考

第2次選考は各学科で行います。出願者に対し、面接を実施します。なお、面接は、必要に応じ、外国語により行う場合があります。

第2次選考の合格者判定は、大学入学共通テストの成績、提出書類、面接の結果により行います。

大 学 入 学 共 通 テ ス ト								提出 書類	面 接	総合計
国 語	地 理 歴 史	公 民	理 科	数 学	外 国 語	情 報	合 計			
(120)	(120)	(80)	(120)	(120) ※ ¹	(40)	160 ※ ²	10	30	200	

※1：英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

※2：大学入学共通テスト600点満点を160点満点に換算

※但し、大学入学共通テストの得点の合計が満点中概ね80%以上の者であることが必要です。

【総合型選抜・学校推薦型選抜】

●経済学部

・第1次選考

提出書類により選考を行い、募集人員の約2倍までの者を上限として第1次選考合格者を決定します。

・第2次選考

第1次選考合格者に対し、面接を実施します。なお、面接は、必要に応じ、外国語により行う場合があります。第2次選考の合格者判定は、大学入学共通テストの成績、提出書類、面接の結果により行います。

配点 区分	大学入学共通テスト								提出 書類	面接	総合計
	国語	地理 歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	合計			
A配点	25	20 ^{※1}	10	30	10 ^{※2}	5	100	50	50	200	
B配点	10	10 ^{※1}	20	45	10 ^{※2}	5	100	50	50	200	

※1：第1解答科目の成績を利用します。

※2：英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング(100点満点)の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記(200点満点)の成績を利用します。

※但し、大学入学共通テストの得点の合計が満点中概ね80%以上であることが必要です。

※A配点、B配点の二つの配点区分のうち、総合計の得点がより高い配点区分により、合否判定を行います。

【総合型選抜・学校推薦型選抜】

●理学部（研究奨励型）

・第1次選考

提出書類により選考を行います。

・第2次選考

第1次選考合格者に対し口頭試問（研究成果のプレゼンテーションを含む）を実施します。口頭試問は個人ごとに行い、1人30分～1時間程度（目安としては、10分間プレゼンテーション、その後質疑応答）とし、グループ研究の場合は、志願者個人の寄与についても評価の対象とします。なお、第2次選考の最終合格者判定は、大学入学共通テストの成績、提出書類、口頭試問の結果を総合して行います。

大学入学共通テスト								提出書類及び 口頭試問	総合計
国語	地理 歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	合計		
(200)	(100) ※1	(200)	(200)	(200) ※2	(100)	100 ※3	100	200	

※1：第1解答科目の成績を利用します。

※2：英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

※3：上記大学入学共通テストの配点1000点を100点満点に換算します。

【総合型選抜・学校推薦型選抜】

●理学部（挑戦型）

・第1次選考

提出書類により選考を行います。

・第2次選考

第1次選考合格者に対し小論文と口頭試問を実施し、希望学科への適性や基礎学力、思考力を問います。

第2次選考の最終合格者判定は、大学入学共通テストの成績、提出書類、小論文、口頭試問の結果を総合して行います。

大 学 入 学 共 通 テ ス ト								提出書類及び 口頭試問	総合計
国 語	地 理 歴 史	公 民	理 科	数 学	外 国 語	情 報	合 計		
(200)	(100) ※1	(200)	(200)	(200) ※2	(100)	100 ※3		100	200

※1：第1解答科目の成績を利用します。

※2：英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

※3：上記大学入学共通テストの配点1,000点を100点満点に換算します。

※但し、大学入学共通テストの得点の合計が1,000点満点中概ね80%以上であることが必要です。

【総合型選抜・学校推薦型選抜】

●医学部医学科

・第1次選考

指定する大学入学共通テストの成績の総点が1,000点満点中概ね80%以上の者のうちから成績上位約30名までの者を第1次選考合格者とします。

なお、大学入学共通テストの配点は、素点を利用します。

・第2次選考

第1次選考合格者に対し1日目に小論文を課し2日目に面接を実施します。なお、面接は志願者が提出した書類（特に、自己PR資料、志望理由書）に基づき、個人面接（30分）を2回行います。

第2次選考の最終合格者判定は、大学入学共通テストの成績、提出書類、小論文及び面接の結果を医学部医学科が学校推薦型選抜で求める学生に照らし合わせ総合的に評価します。

大学入学共通テスト								小論文	面接 提出書類	総合計
国語	地理 歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	合計			
20	15 ^{※1}	20	20	20 ^{※2}	5	100	100 ^{※3}	100 ^{※4}	300	

※1：第1解答科目の成績を利用します。

※2：英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

※3：小論文（120分）の形式は、文章（英文含む）読解論述型・資料分析型・テーマ型・理科論述型など客観的評価ができるようこれらを組み合わせて出題します。

※4：面接は、個人面接（30分）を2回行う。なお、面接の結果によって、医師及び医学研究者になる適性に欠けると判断された場合は、不合格とします。

【総合型選抜・学校推薦型選抜】

●医学部保健学科

・第1次選考

大学入学共通テストの得点及び提出書類の内容に基づき、総合的に判定します。

但し、専攻ごとに募集人員の概ね5倍の数まで（20名を超える場合は、原則20名まで）を上限として、合格者判定を行います。また、大学入学共通テストの配点は、次のとおりとします。

専攻名	国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	合計
看護学専攻	200	100※ ¹		200	200	200※ ²	40	940
放射線技術科学専攻	100	100※ ¹		200	200	100※ ²	30	730
検査技術科学専攻	100	0※ ³		200	200	100※ ²	20	620

※1：第1解答科目の成績を利用します。

※2：英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

※3：配点0点としている大学入学共通テストの教科・科目も、受験が必要です。

・第2次選考

第1次選考合格者に対し、看護学専攻は口頭試問、放射線技術科学専攻は面接、検査技術科学専攻は小論文及び面接（集団面接を含む）を課します。

第2次選考の最終合格者判定は、口頭試問又は面接、提出書類、大学入学共通テストの得点及び、検査技術科学専攻においては小論文の結果を、医学部保健学科が求める学生に照らし合わせ総合的に評価します。

専攻名	大学入学共通テスト								小論文	提出書類	口頭試問面接	総合計
	国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	合計				
看護学専攻	20	10※ ¹		20	30	20※ ²	0※ ³	100	—	50	100	250
放射線技術科学専攻	15	10※ ¹		25	25	25※ ²	0※ ³	100	—	50	50	200
検査技術科学専攻	0※ ³	0※ ³		50	50	0※ ³	0※ ³	100	50	50	50	250

※1：第1解答科目の成績を利用します。

※2：英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

※3：配点0点としている大学入学共通テストの教科・科目も、受験が必要です。

【総合型選抜・学校推薦型選抜】

●歯学部

・第1次選考

提出書類の総合評価により行い、募集人員の約3倍までの者を上限として第1次選考合格者を決定します。

・第2次選考

第1次選考合格者に対して面接を実施します。面接は、医療人になるための適性や明確な目的意識を持っている者を積極的に受け入れることを目的に行い、①全般的態度 ②受験の動機、目的、意識 ③意欲、積極性 ④協調性、柔軟性 ⑤生命科学の勉学・研究に必要な適性と能力を評価します。

面接は、個人面接を行います。なお、必要に応じ、英語により行う場合があります。

第2次選考の合格者判定は、大学入学共通テストの成績及び面接の結果の総合評価により行います。

大学入学共通テスト					面接	総合計
理 科		数 学		合 計		
第1解答科目	第2解答科目	第1解答科目	第2解答科目			
(100)	(100)	(100)	(100)	100※1	200	300

※1：上記大学入学共通テストの配点400点満点を100点満点に換算。

※理科（物理、化学、生物から2）の第1解答科目、第2解答科目の合計得点、及び数学の2科目（（数学I・数学A）と（数学II・数学B・数学C））の合計得点が、それぞれの教科において概ね80%以上であることが必要です。

【総合型選抜・学校推薦型選抜】

●薬学部

・第1次選考

志願者数が募集人員に対し約2倍を超えた場合は、大学入学共通テストの総点及び調査書等により、第1次選考を行います。なお、大学入学共通テストの配点は、素点を利用します。

・第2次選考

第1次選考合格者に対し小論文及び面接を実施します。

- ・小論文：自然科学の勉学・研究に必要な適性と能力を総合判定します。出題については、英語を使用することもあります。
- ・面接：面接は、人間性と創造性の豊かな薬学研究者・薬剤師としての適性をみるために行い、一般的態度、思考の柔軟性、発言内容の論理性等及び提出書類の内容を含めて評価します。面接は個人面接を2回行います。

第2次選考の合格者判定は、大学入学共通テストの成績、小論文、面接の結果により行います。

大学入学共通テスト								小論文	面接	総合計
国語	地理 歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	合計			
150	50 ^{※1}	200	200	150 ^{※2}	25	775	100	150	1,025	

※1：第1解答科目の成績を利用します。

※2：英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

【総合型選抜・学校推薦型選抜】

●工学部

・第1次選考

志願者数が募集人員に対し2倍を超えた学科については、書類審査により第1次選考を行います。

・第2次選考

第1次選考合格者に対し面接を実施します。

第2次選考の合格者判定は、提出書類による書類審査、面接の結果と大学入学共通テストの成績を総合して行います。

なお、面接・提出書類及び大学入学共通テストの配点は、次のとおりとします。

但し、面接・提出書類（100点）と大学入学共通テスト1,000点の合計1,100点で行うのではなく、大学入学共通テストの成績は、基礎学力の確認に利用します。

面接・ 提出書類	大学入学共通テスト						
	国語	地理 歴史	公民	理科	数学	外国語	情報
100	200	100※ ¹	200	200	200※ ²	100	1,000

※1：第1解答科目の成績を利用します。

※2：英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

【総合型選抜・学校推薦型選抜】

●基礎工学部

・第1次選考

大学入学共通テストの成績及び提出書類により選考を行い、募集人員の約2倍までの者を上限として第1次選考合格者を決定します。なお、大学入学共通テストの配点は、次のとおりとします。

大学入学共通テスト							
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	合計
100	75 ^{※1}		200	200	125 ^{※2}	35	735

※1：第1解答科目の成績を利用します。

※2：英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

・第2次選考

第1次選考合格者に対し口頭試問を実施します。受験者の能力、適性、意欲、関心等を各学科で掲げているアドミッション・ポリシーと照らし合わせて、多面的・総合的に評価します。（各学科のアドミッション・ポリシーは基礎工学部のウェブサイト

<https://www.es.osaka-u.ac.jp/ja/examinee/school-of-engineering-science/admission-policy/>を参照してください。）

第2次選考の合格者判定は、大学入学共通テストの成績、提出書類及び口頭試問の結果を総合して行います。なお、大学入学共通テストは、第1次選考における配点と同じです。

3. 旧教育課程履修者に対する経過措置について

令和7年度一般選抜（前期日程）および総合型選抜・学校推薦型選抜に係る大学入学共通テストにおける経過措置は、以下のとおりです。

なお、個別学力検査における経過措置は、各教科・科目とも、旧教育課程履修者を考慮するものの、特別な経過措置はとりません。

※「旧教育課程履修者」は、下記の①および②以外の者を言います。

①高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）に令和4年4月以降に入学し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月に卒業見込みの者

②中等教育学校の後期課程に令和4年4月以降に進級し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月卒業見込みの者

【一般選抜（前期日程）】

●数学

・文学部

新教育課程による出題科目・科目選択の方法に加え、旧教育課程による「旧数学Ⅰ・旧数学A」及び「旧数学Ⅱ・旧数学B」を選択することができます。

・人間科学部、外国語学部、法学部、経済学部、理学部、医学部医学科、医学部保健学科、歯学部、薬学部、工学部、基礎工学部

新教育課程による出題科目・科目選択の方法に加え、旧教育課程による「旧数学Ⅰ・旧数学A」及び「旧数学Ⅱ・旧数学B、旧簿記・会計、旧情報関係基礎」を選択することができます。

※数学における「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校、中等教育学校、高等専門学校又は文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程において、これらの科目を履修した者に限ります。

●情報

・全学部共通

新教育課程による出題科目・科目選択の方法に加え、旧教育課程による「旧情報」を選択することができます。

●地理歴史・公民

※新教育課程による出題科目と経過措置科目を組み合わせることはできません。

・文学部、外国語学部、法学部

新教育課程による出題科目・科目選択の方法に加え、旧教育課程による「旧世界史B」「旧日本史B」「旧地理B」及び「旧倫理、旧政治・経済」の4科目のうち2科目を選択することができます。

・人間科学部

Aパターン

新教育課程による出題科目・科目選択の方法に加え、旧教育課程による「旧世界史B」「旧日本史B」「旧地理B」及び「旧倫理、旧政治・経済」の4科目のうち2科目を選択することができます。

Bパターン

新教育課程による出題科目・科目選択の方法に加え、旧教育課程による「旧世界史B」「旧日本史B」「旧地理B」及び「旧倫理、旧政治・経済」の4科目のうち1科目を選択することができます。
なお、2科目を選択した場合には、第1解答科目の成績を利用します。

・経済学部

I、IIパターン

新教育課程による出題科目・科目選択の方法に加え、旧教育課程による「旧世界史B」「旧日本史B」「旧地理B」及び「旧倫理、旧政治・経済」の4科目のうち2科目を選択することができます。

III、IVパターン

新教育課程による出題科目・科目選択の方法に加え、旧教育課程による「旧世界史B」「旧日本史B」「旧地理B」及び「旧倫理、旧政治・経済」の4科目のうち1科目を選択することができます。
なお、2科目を選択した場合には、第1解答科目の成績を利用します。

・理学部、医学部医学科、医学部保健学科、歯学部、薬学部、工学部、基礎工学部

新教育課程による出題科目・科目選択の方法に加え、旧教育課程による「旧世界史B」「旧日本史B」「旧地理B」及び「旧倫理、旧政治・経済」の4科目のうち1科目を選択することができます。
なお、2科目を選択した場合には、第1解答科目の成績を利用します。

【総合型選抜・学校推薦型選抜】

●数学

・文学部、人間科学部、外国語学部、法学部、経済学部、医学部医学科、医学部保健学科、歯学部

新教育課程による出題科目・科目選択の方法に加え、旧教育課程による「旧数学I・旧数学A」及び「旧数学II・旧数学B」を選択することができます。

・理学部、薬学部、工学部、基礎工学部

新教育課程による出題科目・科目選択の方法に加え、旧教育課程による「旧数学I・旧数学A」及び「旧数学II・旧数学B、旧簿記・会計、旧情報関係基礎」を選択することができます。

※数学における「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校、中等教育学校、高等専門学校又は文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程において、これらの科目を履修した者に限ります。

●情報

- ・文学部、人間科学部、外国語学部、法学部、経済学部、理学部、医学部医学科、医学部保健学科、薬学部、工学部、基礎工学部

新教育課程による出題科目・科目選択の方法に加え、旧教育課程による「旧情報」を選択することができます。

●地理歴史・公民

※新教育課程による出題科目と経過措置科目を組み合わせて選択することはできません。

- ・文学部、外国語学部、法学部

新教育課程による出題科目・科目選択の方法に加え、旧教育課程による「旧世界史B」、「旧日本史B」、「旧地理B」及び「旧倫理、旧政治・経済」の4科目のうち2科目を選択することができます。

- ・人間科学部、経済学部、理学部、医学部医学科、医学部保健学科、薬学部、工学部、基礎工学部

新教育課程による出題科目・科目選択の方法に加え、旧教育課程による「旧世界史B」、「旧日本史B」、「旧地理B」及び「旧倫理、旧政治・経済」の4科目のうち1科目を選択することができます。

なお、2科目を選択した場合には、第1解答科目の成績を利用します。